

泉

第24号

昭和 60年10月1日発行

発行所 東京都中野区本町 6-38-1
郵便番号 164
電話 (03) 381-0196
振替口座 東京9-188318

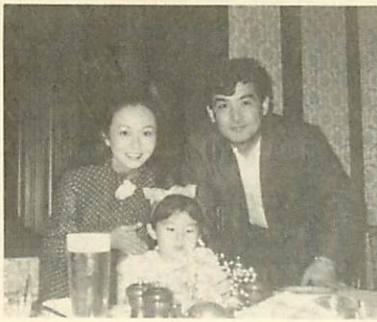
東京文化学園同窓会

発行人 白井スエノ
編集人 青木純子
印刷所 篠塚印刷株式会社
(非売品)

母校を離れて

角川登志子

私は東京文化の小学校から中学、高校に進み、高校二年になったときに仕事の都合でお茶の水の文化学院に移りました。東京文化はとも懐かしく、今でも制服を着て



家族で食事

楽しかった小学校

初めて小学校に行ったのは、入学試験に母に連れられて行ったときで、うすいページジュのジャンパーを着ていらした鈴木光雄先生の膝に乗って、先生から「この学校は給食だけ食べられるかしら」なんて聞かれました。

入学して一日目に行ったときから、古い木造校舎の左側の広い階段（あとで見るとそうでもなかったのですが、その時は広く感じま

いた）を、永山先生と中島先生とに両手をつながれて降りてきた覚えがあります。

小学校のときは、一番小さかったので、ランドセルが歩いていかなんて言われていました。朝、学校に着くと、上級生が入口で待っていて、連れ行ってもらい、下駄箱で靴を入れてくれたり、みなやってもらいました。これが良いことであつたかどうかは別として、一年一クラスで規模は小さくてもとても家庭的で、先生方とのつながりが強いだけでなく、生徒の上級生と下級生との交流が多くて良い学校でした。大きい学校にしないで今のままでいて欲しいと思います。

小学校のときの友達が一番結びつきが強く、今でも何人か時々会っています。中学か高校のまま止まったままのような話し方です。

卒業後、中島先生に声をかけていただき、小学校のスキー教室に一回行きました。体が軽いのです

ぐに飛ぶように滑りだしてしまいました。止まり方がわからないので、尻もちをついて止まりました。楽しい思い出がとても鮮明に残っています。その後は都合が付かないので行けずに残念です。

中学校に進んで

中学に入ってから、通っていたバスの中で、ずいぶん小さい中学生だな、なんて失礼なことを言われ、負けん気が強かったのにらみ返したりしました。

中一の時は、やたらに繊細で、いろいろ悩んだり、なんと自殺に憧れたりしたこともありました。創作舞踊の発表会が杉並公会堂であったときは、賞を取ろうと一生懸命に練習して頑張りました。五十嵐美佐緒先生というとても綺麗な先生がいらして、憧れていました。

中一と中二は成績が良くて遅刻もあまりしなかったので優等賞をいただきました。中三になると成績は良かったのですが遅刻が多くなったので優等賞はいただけず、母はショックだったようでした。親というものは、子供が賞などをいただくのがとても楽しみなようです。

なくなられた阪本浅之助先生には、小学校中学校とつづいてお世話になりました。頭がとんがって

はげけていらした、暖かみのあるオジイチャマ先生でした。多磨墓地にお墓参りに行ったときに先生の頭にトンボが止まろうとして滑ったという話が残っています。

先生はとても人気がありました。退職されるというので皆で歓送会をして、コカコーラをお出ししたところ、「生まれて初めて飲みました」と感激されました。その先生の姿に私たちはもって感激していました。先生はバイブル・クラスをしていらして、私もそれによく出ていました。聖書の教えが今でも私の心にたくさんの「心の糧」を下さいました。

芸能界へ

小学校二年の七五三のときにスカウトされて、雑誌のモデルをしていました。同級生に宝塚に行かれた寺尾真知子さん（芸名・北原千琴）がいて、一緒にモデルの仕事をしていました。

芝居をやりたいと思ったのは、モデルとは全く関係のないことからでした。中三の時に芝居に興味を持ち始めて、自分で劇団に電話して、オーディションを受けました。それから芝居の仕事が運よくついで、十年以上も別の世界に入っていたことになりました。学校と両方だったので、両立が大変でした。

初めて入ったのは「劇団若草」という児童劇団でした。その後、

大阪志郎さんの事務所、さらに三船プロに移り、そのあとで今の田中プロに来ました。

父は私が一人っ子なのに厳しく育てました。仕事の都合で夜帰るのが遅くなる事があっても、絶対に迎えに来てくれないので泣いたことを覚えています。父に電話したら、「私が頼んでやって貰っているのではない、自分でやったのだから自分で帰ってこい」と言われました。それで、愛されていないと思っただけでもありません。

も時々受けることがあります、おそろく女優としての仕事はもうできないと思っています。もっとも、やりたいというエネルギーはあります。

女優の仕事は、家庭と両立しないようです。仕事が相手の都合で決まってしまうので、自分の都合で「何日の何時から何時までにしてほしい」とは言えません。主人が昼過ぎに仕事に出かけたり、夕方早く帰ってきたりするように仕事が不規則なもので、私がいなくて家の中がバラバラになってしま

います。相手に合せて動くという女優の仕事は難しくなります。主人は私が家庭にいるのが好きなこともあって、女優の仕事はなかなかできません。今は育児の一番大事な時なので、仕方がないと思っています。子供ができたから自分を殺さないとしたがらないのですが、子供のためならできます。

それでも、芝居を見に行くのも今の事務所には籍を置いてはいるのですが、芝居の仕事は何年もしていません。取材の仕事は今でも時々受けることがあります、おそろく女優としての仕事はもうできないと思っています。もっとも、やりたいというエネルギーはあります。



新度戸記念館の前で来未ちゃんと

好きなので、子供が二歳になってからは、同居している私の母に娘を預けて、夜はダメですけれどもどうしても見たいマチネには出かけてしまいました。結婚するときに、絶対に引退しませんが言ったのですが、結果としてそうではなくなりました。引退しませんが悪いものはないので、引退しないと言ったのですが、結婚してもなぜか家にいるようになりました。

子供ができて

家にツバメの巣があり、毎日ごはんをやっています。見ていると親が帰ってくるころに子は羽をバタバタさせて三角の口を開け、顔中を口にしてビイビイ鳴いています。子が自分位大きくなっても、親は一生懸命エサをやっています、とても心が暖まります。父親は時々サボっていますが、母親は全然休まないで子のためにエサを取ってきて、子がエサをちゃんと飲み込むまで待っています。

花でもお話しすると花にはそれぞれがわかると思います。人の家庭もこのツバメや花のようなものでしょう。子供には、明るくて、人の悲しみを自分の悲しみにできるような人になってほしいと思います。小学校の遠足のときに母親がついてきて、半分は嬉しかったので

観劇会

— 宝塚公演を —

高58・短60卒 阿部美和

同窓会主催の観劇会が去る六月二十二日、東京宝塚劇場において行なわれました。毎年恒例の観劇会ではありますが、今回は、宝塚星組公演による「哀しみのコルドバ」と「ルミエール」でした。私の家では、同窓生になって初めて参加する私とすでに会員の母と、二人共に出席出来た事とても喜ばしく思いました。

本日の公演には私達の先輩にあたる佐藤真浪、芸名 麻木瑞穂さんが出演しておられ、今までは違った見方で宝塚公演を観劇する事が出来とても楽しい一時を過ごしました。

この場を通して、学生時代の友人と久しぶりの再会を楽しみ、また、手拍子を打っていると、いつしか学生時代の私に戻ったようでした。大先輩の同窓生の方々もさぞかし楽しんでおられた事でしょう。

このような会を催して下さる方々に感謝したい気持ちでいっぱいです。これからも出来るだけ参加したいと思っています。

同窓会では二階の七二八席を借り切りました。

台湾

第二回海外旅行

専25 青木純子



高雄市内、万寿山の蔣介石総統の同像
の前で、前列右から2人目が林氏さん

第二回海外旅行として十二月二十五日より十二月二十八日の三日四日、麗わしの島台湾ツアーが行われました。歳末を控えて多忙の時期と、台湾旅行者からコレラ患者発生が盛んにされた頃であったためか、参加者は少なかつたが、同窓生の他、湊先生の友人夫妻なども加わり、搭乗員を含んで一行は十六名、特に森本晴生事務長の参加は心強かった。寒さの身に必みる早朝の羽田空港を、中川先生の若い助手の賑かな見送りを後にして中華航空機で

八時五十分出発する。約三時間で台北着。国内線に乗り継ぐ間の四・五十分の間、早、数人は売店でショッピング。台北より雲上あの新高山(現在は玉山)を眺めて約五十分で高雄空港に到着する。待合室に出た途端「あなた白鳥さん。」

きた。高雄より国内航空で二十分程で花蓮へと。軍事体制下の国であるためか出入国のチェックは厳しく、飛行場での撮影は禁止、手荷物に至るまで開けて検査、その上、女の検査官ではあるが、内股までの身体検査には苦笑い。

夕食を済ませて国聯ホテルに入る。最後の夜だけに皆、思い思いに外出し、ショッピングを楽しむが、ガイドさんの案内の夫々の百貨店には日本語のできる店員をそなえ、マンツーマンの商魂たくましさにはいささか閉口する。

「あなた白鳥さん。」と言う大きい声で迎えられる。専門十六年卒の林氏采繁さんである。また、きびきびしたガイドの周さん(五十近い女の人で子供さん二人は医者)の学校へ、御主人は日本の学校を卒業、日本語はおばあさんに教えて貰った。」と専用観光バスが待

バスと徒歩で、えんえんと大理石で構成された目もくらむような大峡谷の続くタロコ峡谷を観光。台湾最大の景勝地と誇るだけの見事な景観であった。帰りの大理石工場で宝石類を見たり、買ったりし、中信ホテルへ入り四川料理の夕食。すぐ美人揃いのアミ族の華麗な踊りを観賞する。もう九時を廻っているが、周さんの勧めでホテル前の美容院へ女勢みんなで行く。マッサージ付シャンプーで、「気持ち良い」と言うと言と喜んで若い女の子が一生懸命マッサージしてくれ

その一部の展示品に触るが、さすが見ごたえがあり、機会があればじっくり見たい思いでした。悦賓楼レストランにて最後の北京ダックなどの北京料理の昼食。周さんに思い残すことのないように食べてねと言われるが、あまり皆食欲がなく持ち帰る。

観光バスは万寿山の公園へ。佳日なのか、白のウェディング姿のカップルの何組かが歩いており、その一組と記念撮影をするが、現地カメラマンがバスに同乗。万寿山公園、澄清湖八景を散策中のスナップなどを大理石や堆朱の額入にして、翌朝勧められたのは何処も同じと言う感じであった。ホテルインホテルへチェックインし、別れる。

三日目は花蓮より特急「28光号」にて台北へ。昼頃到着。飲茶の昼食後忠烈祠での衛兵の交替儀式を見学。暇も動かせない程訓練されている兵が、出番の前に、ラジオに合せて歌ったり踊ったりして

暖かいことを期待していたが、台湾では珍しい程の寒さでした。だが誰も病気せず、本当に気持ちの良い楽しい旅であった。湊団長初め、事業部及び関係者の皆様、また参加者の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

二日目は蓮花潭観光。原色ばかりの鮮やかなバゴダや建物、中国情緒をたっぷり味わうことがで

夕暮れ迫り新年の飾り付けを建物の半分だけした総督府を見て、紅寶石レストランにて広東料理の

外の見学と試食。

先生方の近況

さる六月二日の同窓会総会のご案内を退職された先生方に差し上げましたところ、次の先生方から近況をお知らせいただきました。尚、紙面の都合で、御住所を割愛致しました。

窓の方々も如何お暮しかと、フト一緒に学んだ頃を思い出していましたが、あまりにも月日が過ぎてしまいました。私も八十五才の老人になりましたが、元気に暮しています。

最近また医技で、情報科学概論の講義をしています。東京理科大学教授として多忙生活。

元気で暮しております。私が講師として貴校に同ったのは昭和二十六年から二十七年頃で、ずい分昔のこと。

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

お問合せは
〇三三三八一〇一九六
東京文化学園同窓会まで

現在学校法人金子教育団・国際商科大学理事をいたしております。

皆さま方も呉々もお大事に。

母校の教育のよさを感じます。ますますよい学園として発展されることを期待しております。

六月はじめてトロントへ参ります。相変わらず元気で多忙な毎日を通しております。

浅尾晴海先生

石井暢先生

大島駿先生(旧・中野)

亀井安之助先生

小林宏先生

病気に入院中なりし為、回答が遅くなり失礼致しました。高熱のためビクビクして入院したのですが、間もなく熱も下がり、原因不明のまゝ、快復した有様です。目下大学名誉教授のみと成り、時に大学へ顔を出しています。

小生、国立東京第一病院から昭和大学に移り、昨年同大学を定年退職いたしました。一応の仕事を終えたというところですが振り返りますと荏苒、時を過ぎただけであります。

お招き頂きましたが、取材旅行中にて不在となりますので、欠席させて頂きます。

両眼失明、何とはなく長らえ居り候。

この春、二番目の孫が生まれ、それも双子の男の子ですので、毎日大忙しです。

阿部市五郎先生

石田伸子先生

尾澤金衛先生

川村信一郎先生

小松富美恵先生

昨年八月一杯で明星大学を退職、ゆっくりとした毎日をすごしています。

(編注) 荏苒はシンゼンかニンゼンと読み、歲月がのびのびとなることの意味です。《角川漢和中辞典》

発病以来六年ですが出席出来ず、ご盛会を祈ります。

遠くにいますのでなかなか出られませんが、また六月二十二日の定期演奏会をひかえて、このところ毎日曜日高松交響楽団の練習があり、日曜日はこのところ出られませんが、オーケストラでピオラをひき、うちではピアノをひき、引きつづき明善短大で栄養生化学の講義をしております。

本年三月をもちまして、ある私立学校を退職致しました。定年ではありませんが感じる事がございまして新しい道を歩みはじめました。今後は職場のカウンセラーとして働きたい望みをもって只今勉強中でございます。御校の今後の一段の発展を心から御祈り申し上げます。

天木一太先生

日本大学医学部第一内科教授

おかげさまで元気にしております。お世話になりましたところからもう二十年余たちました。折りにふれて当時をなつかしく思い出します。

帰省におります。元気で八十才になりました。

本年三月をもちまして、ある私立学校を退職致しました。定年ではありませんが感じる事がございまして新しい道を歩みはじめました。今後は職場のカウンセラーとして働きたい望みをもって只今勉強中でございます。御校の今後の一段の発展を心から御祈り申し上げます。

三枝美智子先生

井伊田鶴先生

三十年以上も昔になりました。時折中野駅へバスで行きますが、すっかり変って元の道もわからなくなりました。存じあげている同

ふれて当時をなつかしく思い出します。

城跡の由来記は読まず曼珠沙華朱塗り橋渡れば城門風薫る

生憎当日は、現勤務校の体育祭ですので、都合がつかかねます。

木下博義先生

磯貝瑤子先生

東洋英和女子学院で英語を教え

そこだけが白く光るよ野水仙

祭ですので、都合がつかかねます。

御校の今後の一段の発展を心から御祈り申し上げます。

しています。

宇都宮敏男先生

健康状態も回復してきております。

相変らず制作に追われる日々です。

影山寿先生

黒沢信男先生

枝村光子先生

十六年から二十七年頃で、ずい分昔のこと。

河野美和子先生

元気で暮しております。私が講師として貴校に同ったのは昭和二十六年から二十七年頃で、ずい分昔のこと。

河野美和子先生

元気で暮しております。私が講師として貴校に同ったのは昭和二十六年から二十七年頃で、ずい分昔のこと。

河野美和子先生

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

榎田良精先生

東京文化でお世話になった三年間が、いつも懐しく思い出されます。目下、立教女学院で高校生に英語を教えています。

桜井英秋先生
当日つくば万博の救護医として
出場依頼を受けておりますので、
残念ながら欠席させて頂きます。

笹森達英先生
郷里の弘前に帰り、弘前大学の
教官として勤務しながら、音楽活
動をしています。

島村美代子先生
何もないところですが、歴史と
人情だけは残っています。佐渡へ、
どうぞどうぞお越し下さいませ。

鈴木眞佐子先生
昨年度までは盛岡大学で三年間
教えておりましたが、四月からは
やめて家におります。

高橋静枝先生
健康も回復し、元気に致してお
ります。久し振りにのびやかに暮
しております。四月一日、京浜女
子大食物栄養学科が大船に移転致
しますのを機会に、退職致し、研
究生活に入りました。

竹内乙彦先生
孫が昨年短大を卒業し、証券会
社に務め励んでいます。

千葉千代吉先生
暮しの手帖社で働いて居ります。
よろしく。

土橋光子先生
相変らず元気に現場の子供達や、
立教幼稚の学生さん方と、日々を
張り切って過しております。

寺崎清吾先生
なつかしい東京文化学園を退職
いたしまして丁度十年になります。
そして八十才、としをとりました。

中村千栄先生
私五十七年に船橋へ引越しいた
しました。

西田りょう先生
最近すっかり古いこんで身体的
には故障が多いですが、気持はま
だまだ若いつもりです。
あの中野の校舎で十余年お世話
になったのも遠い昔のことですが、
旧先生方や卒業生の皆様、なつか
しい限りです。

原田吉雄先生
私の次男の、シンガーソングラ
イター原田真二のファンクラブを
経営しております。筑波博の健康
館で、龍村仁の映画 Bedside の
主題歌を真二が作りましたので、
皆さんにごひろうただければ、
幸せに存じます。

松下和子先生
元気で、今でも聖路加で働いて
おります。

松本啓子先生
一昨年まで幼児体育の講師をし
ておりましたが、昨年より主人と
共に電気設計の事務所を開設し第
二の人生を歩んでおります。

三谷茂先生
十年來の病氣もほぼ治り、目下
回復療養(リハビリ)に努めてお
ります。近いうちに皆様にもお目
にかかれると思います。

宮本昌子先生
すっかり田舎者になりました。

村尾寛先生
昭和五十八年四月東大医学部を
停年退職し、現在公立学校共済組
合関東中央病院長を勤めておりま
す。

横井瑛子先生
当日ボランティア活動がござい
まして、申しわけございませんが
欠席させていただきます。

横山孝光先生
至って健康に勤務しています。

渡辺鈴女先生
たゞ今は学校勤務もやめて十年
専ら教会に仕えております。

渡辺チイ先生
東京女子医大の衛生学教室にい
て後輩達と過しております。

この他に、次の先生方からご欠
席のおほがきをいただきました。
(五十音順)
相澤豊三先生 石井陽子先生 伊
藤久子先生 入江早由美先生 宇
田川道子先生 大西セチ先生 大
場巖先生 越智学先生 勝守恵先
生 神原すみ江先生 菊野恵一郎
先生 小村幾次朗先生 佐伯政雄
先生 阪田雪子先生 坂本良子先
生 佐久間宣江先生 佐藤菊子先生

卒業生の近況

総会のご返事をいただいた中よ
り、近況の部分に掲載させていた
だきました。

三沢ふみ(専7)

元気に保護司として働いており
ます。

昆野芳枝(専10)

リハビリテーションに心がけ身
体の回復後にまたお目に掛りたく
存じます。

大崎光枝(専15)

去る五十五年春に子供が早大
学院卒の年に私も上京。なつかし
い母校にも寄り色々と写真もとり、
短大生や森本校長先生のお孫様に
あたられます事務長方にもあいま
して、その時の写真を懐しく眺め
ております。

中山多美子(高女17)

卒業いたしましたより四十三年を過
ぎ、孫五人の祖母となり幸福に過
してしております。

三科和子(専22)

息子が六月八日に結婚いたしま
す。

上村洋子(佐藤)(専24)

長いこと勤めていた職もひき、
静に暮らしています。この三月主人
も退職し、子供達の巣立った家に
抜ガラ二人残され、のん気に各々
好きなことやって日を過して居り
ます。六月末、二人目の孫出産の
予定、不安とうれしさの複雑な心
境です。

中條万理子(高女15)

家事と通学勉強の両立に苦勞致して居ります身。実技のあんま、指圧、マッサージの他に解剖学、生理学、衛生学、社会科、理数科、医学史、漢方、音楽、体育と多忙にて、六月六日は身障害の大運動会にてヘレンケラー学院生として参加いたしました。

松並圭子(北村)(短大37)

息子も大きくなり、今春早稲田理工科へ入学させて頂きました。上京する折もあると思しますので、昔の学生時代を思い出し、機会有りましたら母校を訪ねてみたいと存じます。

高見たまゑ(短大37)

稚内市の体育指導委員等を行い、子供達にバレーボール、老人にはゲートボール等教え、毎日が忙しい日々を送っております。

古川明美(短大50)

たゞ今海外勤務中にて、ゲームに参りまして、丸二年になり、子供も満四才になります。親子ともども元気に過ごしております。

深山陽子(古川)(短大53)

結婚で仕事を辞めてから、皆様には大変失礼しております。三月一日に次男を出産し、現在育児に毎日を通しております。

上屋敷優子(短大54)

今秋挙式のため、その準備ですので大変申し訳ありませんが欠席させて頂きます。

宮澤まゆみ(五十嵐)(短大55)

ただ今二人目の子がお腹におりまして、七月月と大きくなっていきますので、今回は欠席させて頂きます。

佐藤容子(短大57)

就職先がサービス業(伊勢丹)であるがため残念ですが欠席させていただきます。

岡部和恵(短大60)

四月よりホテルに勤務しているため、日曜日はお休みであります。

清田洋子(高35)

子供たちも、長女は今春から東京で下宿の大学生活、長男は高校次男は小六、それぞれ成長いたしました。次男が小六のため、子供の役が回って来て一年間頑張らざるを得なければならなくなりました。

松崎美都里(鈴木)(高40)

只今、ニューヨークに転動中。

坂上信子(山南)(高48)

只今、西独在住中。

白尾仁美(高49)

高校を卒業より毎年のように文化祭にお伺いしております私としては、是非出席させて頂きたいところですが、子供がお誕生日前で、一時も私から離れません、残念ながら欠席致します。

鷺田由美子(高56)

唯今、国際科学技術博覧会のKDDコンパニオンとして働いて

います。

稲生裕花(高60)

私が就職した日本ビデオシステム(株)は、月曜日が休日となつていまして、日曜日には出社しなければならぬため、今回は欠席させていただきます。

寺村 公(医32)

六月二日の同窓会総会につきましては、一方ならぬお世話になりますことと、御礼申し上げます。本人、公は、只今アメリカにおりますので、残念ながら欠席させていただきます。皆様におよろしく(寺村公留守宅)

西 照子(医35)

さわやかな、五月晴れの折柄、同窓会のお知らせは誠に皆様の心を明るくされていることと存じます。私共の家庭のようにささやかながらも、主婦の立場で子供達を成長へと願ひ居る者にとりましては、この様な遠方ながらの者にも知らせほのかな安らぎを得ての過ごしと有難く感ぜられます。

二宮三枝子(医46)

真夏のような、毎日が続いている今日このごろですが、会員の皆様方お元気でお過ごしでしょうか。同窓会のお誘いをうけ、何十年前の学生時代を懐かしく思い出しています。今、私、子育ての真最中、

そちらに伺えません。本当に残念です。会の繁栄と皆様方の御多幸を祝します。

長滝智子(笠木)(医52)

只今、ケニア、ナイロビに居住。

添田保彦(小34)

お蔭様で英国立学院で元気に勤務に励んで居ります。今年で十年目になりましたが、帰国致しました折には、是非懐しい母校をお訪ねしたいと申して居ります。(母)

岡野盛男(小45)

二月一日より(キッコーマン)本社資材部勤務と相成り、このたび赴任し、寮生活に入り、何分遠隔の地となりましたが、乍不本意「欠席」させて頂きます。(野田市)

中村 仁(小49)

フロリダのマイアミ大学に在学中で、この五月十日が卒業式です。帰国は八月になります。帰りましたら、お世話になりました東京文化小学校の先生に御挨拶に伺いたいと、本人も私共も思っています。(母)

山下博史(小50)

アメリカ留学中。

村上慶子(短大30)

六月二日は丁度仕事と重なり、(出版社業務の為)欠席となり申し訳ありません。次回を楽しみにしています。

倉橋千恵子(短大32)

公立病院に栄養士として二十七年め、なんとか頑張つて居ります。これも皆母校のおかげと思ひます。ご繁栄を祈ります。

石川靖子(柏木)(短大33)

短大卒業してから二十七年の歳月がたちました。私共も主人の転勤で只今秋田にまいっております。二人の子供達それぞれ社会人、大学生と親元を巣立ちました。

永山高子(短大37)

子育てが忙しくて、なかなか上京までという事が出来ません。何年か先には上京できる時もあるかもしれません。

同窓会総会レポート

人見知りの強い私は、クラス会には出席しても同窓会にはなかなか腰が上がりなかつたのですが、十年前に同期の友の死亡で幹事のお役を受けてより、母校に集う機会が多くなりました。級友と力を合わせ、一番始めに名簿の確立を手がけ、年に二・三回の同期会便りを発行し、母校の様子を知らせ、同期生の消息、体験談、旅行記、短歌、写真等盛り沢山の楽しいお便りが出せるようになりました。

卒業して四十年、還暦を迎える年になりました。

初代校長新渡戸先生が五千円札になられたが、直接ご指導頂いた者としてその一部報告して先生の人徳を伝えたい。

母校に学ぶまでは側にも寄れないと思っていた先生が、学校であれこれ導いて下さった。

小石川のご自宅に呼ばれ、自家製の料理で親身も及ばぬ心遣いでおもてなしいました。新渡戸先生ご夫妻の一こまひとこまが浮んでく



上 西グラウンドでの記念撮影、左 挨拶される白井会長

る。国際連盟事務次長として使われた机、床から天井までの蔵書があった。「君たちはこれからだよ。これから先を考えると僕はうれしい。」偉大な教育を代々の先生に受けつがれてきた。誇りとすると同時にご遺志を傷つけないようにしたい。

〔濠副会長の報告〕

年に五・六回理事会を開催している。幹事会は、新幹事の紹介をまじえ四月に一回を開いた。総会は二年に一回開いている。各期で級会旅行している所もある。一年間の主な行事は次のとおり。

- 四月 新幹事紹介の幹事会
- 五月 年間行事予定
- 六月 総会、観劇会(宝塚劇場)
- 八月 旅行
- 九月 びづみ発行
- 十月十一月 学園祭
- 十二月 忘年会
- 二月三月 同窓会入会式

新渡戸先生、厚吉先生に教えを受けた一人として、学校に入って良かったと思っている。三つの日を中心として、自分が教師となつて始めて素晴らしい学校だったと教え子に話せる。若い人、七十歳もいる同窓生の中心になる一つのものと同じである。専門学校は年とつた。これからは、短大と一緒に年とつた。高校と一緒になつてもよいのか。高女も年とつた。高校と一緒になつてもよいのではないかとも思っている。

つづいて、役員紹介、決算報告

会計監査、六十年度予算の審議、と予定どおり進行しました。学校現状

〔佃短大校長〕第一高等学校(校長新渡戸先生)を卒業、五十九年に本学に来るまで、立教大学に四十年勤務していた。短大は家政科だけの学校だが就職先で躰がよいと好評である。入学も数倍の受験が来ている。国際性、生涯教育に目を向け、新しい道を開きたい。

〔福岡医技校長〕四年前に守屋先生の後を受ける。医技も順調に発展中。伝統校で卒業生が優秀で、医療の現場を高めている。守屋先生をささえてきた長岡先生が定年退職されたが、副校長に虎の門病院から本間先生を迎えたほか今井先生、阿部先生、飯森先生、伊藤先生も加わった。

全国的に入学希望者がいる。卒業生の国家試験の合格率もトップクラスで九十%以上である。六十年記念事業として、中野の学生寮をこわして医技学校が移転する予定。六十二年、新しく国際ビジネススクールを作る計画もある。寮は女子学生寮を借りあげたので、卒業生の子女を入れたい。

〔橋本小学校長、幼稚園長〕小学校は、三十八年目を迎えた。幼稚園は四十年目を迎えた。小学校の卒業生は千二百名、うち男子が四百名。小学校と幼稚園は七年前に近く建てた新校舎に移った。小学校は一九一名、幼稚園は百名

る。四年生は浅間高原寮に泊って田植えをし、五年生はそれを刈り入れに行っている。

〔落合常務理事〕昨年二〇七〇名、今年二一〇〇名の学生生徒が通っている。

いじめ、登校拒否は全くなく、教育が徹底している。小学校では一時学童数が減つたが回復している。海外より帰国者を入れていく。同窓会館を建ててほしいとの強い要望があり、早い機会にできるように検討している。

これから数年は生徒数の増減は激しいので、これから教育はむづかしくなる。危機を乗り越えるよう努力している。

〔黒沢中学、高校教頭〕松尾先生はご主人が福島大学へ転任のため退職された。

チャンスがあったら中、高六か年教育をしたい。心を持った女性を育てたい。高校からでなく中学から長い間、預かって育てたい。

今の中学三クラスを四クラスにふやしてゆく予定。中学から入らないと高校からの入学が出来なくなる。いい家庭の生徒を送りこんでほしい。

議事終了後、校庭で、記念写真をとり、懇談で話の輪が広がりました。

田村美知子

近代医学に活躍する

臨床検査技師

校長 福岡良男

医学が現在のように発達して
 なかった時代には医師が一人で診
 察、検査、治療を行っていました。
 しかし、医学が急速に進歩した現
 在では、医師が一人ですべてを行
 うことが困難となり、看護婦、薬
 剤師、レントゲン技師、臨床検査
 技師という専門職が生まれ、それ
 ぞれが分担して医療チームを編成
 し、医療に貢献しています。

医療のうちで患者さんのいろい
 ろの検査に従事するのが臨床検査
 技師です。この検査の結果によっ
 て医師は病気の診断、治療方針の
 決定、治療効果の判定、患者さん
 の病気の将来の予測を行います。
 このように臨床検査技師は医療の
 中で最も重要な仕事をしているわ
 けです。

臨床検査には検体検査、生理機
 能検査、病理検査、輸血検査があ
 ります。検体検査とは患者さんか
 ら採取した血液、尿、便、喀痰、
 体液について行う検査であって、
 化学的成分を測定する化学検査、
 血液の細胞形態と凝固機能を検査
 する血液学的検査、免疫機能や異
 常タンパク、がん物質を免疫学的
 に検査する免疫学的検査、感染症
 の病原である微生物や寄生虫を検
 査する微生物学的検査などがあり
 ます。

生理学的検査とは患者さんが発
 する電氣的、物理的情報をキャッ
 チし、それを解析して診断を下す
 検査であり、心電図検査、ベクト
 ル心電図検査、脳波検査、筋電図
 検査、脈波検査、呼吸機能検査、
 聴力・平衡感覚検査などがありま
 す。

病理検査は手術や解剖で摘出し
 た組織の病変、喀痰や分泌物中の
 がん細胞の有無などを顕微鏡を用
 いて検査する検査であります。
 輸血検査は輸血による感染防止
 輸血による免疫の予防、輸血副作
 用の防止など安全な輸血をするた
 めの検査をする検査です。
 これらの検査は大部分オートメ
 ーションによる分析、コンピュー
 ターによる検査結果の解析が行わ
 れています。臨床検査技師の活躍
 の場は病院の臨床検査室のみなら
 ず、医師会や民間の検査センター、
 大学の研究室、研究所、保健所、
 製薬会社の研究室や学術課などま
 すますその需要が高まっております。
 さらに増大する傾向があります。

臨床検査技師としてどのような
 人間像が望まれているのでしょうか。
 臨床検査技師として最も必要
 なものは医師や看護婦と同様に常
 に病める者に奉仕するというヒュー
 マニティーであります。冷静、
 沈着で協調性と研究心に富み、仕
 事に対してファイトのある人が望
 まれています。臨床検査技師教育
 を進めるための基礎学問として化
 学、物理、生物が必要であります
 ので、理科系の教科をすきな人が
 望まれます。

本校は医学界が望むような人間
 的に優れた、しかも高度の知識と技
 術を身につけた臨床検査技師を養
 成し、社会に送り出す使命をもっ
 ています。三年課程ですが、はじ

めの一年間は教育課程を、二年目
 は専門教科の講義と実習を、三年
 目は都内の大学病院や一流大病院
 の検査室において臨地実習を主体
 とした現場教育を行っています。
 本学は昭和二十七年にわが国で
 最初に設立された臨床検査技師学
 校です。卒業生の国家試験合格率
 は常に全国のトップレベルにあり
 ます。

本学の卒業生は各方面で技師長、
 主任技師となつていくものが多く、
 その人柄のよさと旺盛な向学心に
 より、本学の卒業生を採用したい
 という病院や研究所が多く、求人
 は卒業生の三倍に達しています。

また、卒業生の
 中から最
 も難関と
 されてい
 る一級臨
 床検査技
 師試験の
 合格者が
 十三名、
 各種の賞
 を受賞し
 た者が八
 名、医学
 博士の学
 位を授与
 された者
 が三名あ
 り、また
 外国の病
 院の主任技師となつてい
 ることは、本学の卒業生が如何に
 優秀であるかを物語っています。
 本学の教授陣は都内の大学病院
 と一流大病院の医師と検査技術者
 で、全国で最高のスタッフをそろ
 えています。

本校は医学界の要請にこたえ、
 高度の技術と豊かな教養をもつた
 女性の臨床検査技師の養成にま
 すす力を入れていきますので、優
 秀な女子高校生をご推薦くださる
 ようお願いいたします。また、本学
 の発展のため一層の御援助を下さ
 るようお願いいたします。

全国臨床検査技師教育施設協議会 第13回夏期教職員研修会



福岡良男校長の講演

学生募集要項

修業年限 3カ年
 募集人員 70人(女子)
 入学資格 高卒(又は高卒以上の学歴を有すると認めたる者)
 出願書類 入学願書、出身校の調査書、健康診断書、出身
 校長の推薦書(推薦入学志願者) 入学選考料を
 そえる。

推薦入学

願書受付	試験日	合格発表
昭和60年11月6日 12月3日まで必着	12月5日	12月6日

試験入学

願書受付	試験日	合格発表
昭和61年1月10日 2月10日まで必着	2月12日 筆記試験 13日面接	2月14日

試験科目 英語B、化学I、II、および物理Iまたは生物Iのうち1科目選択 計3科目

いまこそ大切な “勤しむ双手”教育

沢野 勉

3日精神のひとつとして校歌に

うたわれた「勤しむ双手」のもつ意味は、時代とともに一層その重みを増しているように思われます。「勤しむ」とは、辞書によると「心をこめて物事にはげむ」ということです。たんに小器用に手を動かすということではありません。何かに向って、前向きに「はげむ」という能動的な姿勢、それが「勤しむ」なのです。

さて、本学の伝統として、古くから実習などを通して、よく手が動く、気働きのよい人間をつくるような教育が行われてきました。これらの伝統を、いま、どのように教育の中に生かしていくか、それを探り、それをつくり出していくのが、わたしたちの勤めと思っております。

多くの短期大学で、いまでは卒業研究や特別研究とよばれる、ふつうの授業形式とは異なった「ミ

ニ卒論”のような自主研究が行われています。しかし、本学でこれ

を始めた十二年前には、短期大学では、この種の試みはまだほんの僅かでした。一年次生の終りに、各人の好みのテーマにしたがって希望する教員のもとに登録し、二年次生の一年間をかけて、ひとつのテーマについての研究にとりくむという、この卒業研究は、いまではすっかり定着しています。他の短期大学からの問い合わせに応じて、組織や方法を「伝授」するまでもなりました。

テーマによりますが、学生たちはこの卒業研究の中で、文字通り手足を使つての実験や調査にとりくんでいます。

また、一年次生を対象として毎年実施される九月の「浅間教室」では、学園の浅間高原寮を利用して、自然の中でのいろいろの作業を学びます。とくに現代の都会の暮らしの中では、木の肌になれることもなく、土の香りに親しむということもありません。そこで、この浅間教室では、全員が飯ごう炊さんを行い、火の起こし方から薪のくべ方、炭の扱い方などを実

際に体得します。

圧電式のガスコンロやライターが増えている、などと歎いていても始まりません。やれることからやっていく、そこにわたしたちの役割もあるのではないかと考えています。

浅間教室では、そのほか白樺の枝を切り、これをくり抜いて指輪をつくることもやります。ふだんは鉛筆も削ったこともない学生たちも、ここでは、時として手を切りながらも、刃物を扱って物をつくるという、人間が原始の昔から行ってきた作業に懸命に立ち向かいます。

刃物といえは、もうひとつ、他にはみられないと思われる本学の特色をつくっている行事があります。「刃物教室」といって、ほうちょうの扱いを専門家から学ぶ講習会がそれです。学園の近く、青梅街道に面した古い刃物屋さんのご主人の原さんが講師。何しろ、その道五十年近いベテランで、東京でも指折りの刃物職人とか。ほうちょうの選び方、研ぎ方、手入れの仕方について、まさしく手をとっての教育です。砥石のセットも一人ひとりにわたるように購入しました。

☆

生活が便利になり、以前ほど手を使うことはなくなってきました。ポットを傾けることすらしないで湯が注げる。押すだけ”式の商品が増えていきます。文明というものは、人間の手の働きの可能性を奪っていくという面ももっているといえるでしょう。

そうであればこそ、わたしたちは伝統の「勤しむ双手」教育の意義を理解し、その現代での実践に向けて努力していきたいものと思



刃物講習会
専門家から砥ぎ方の
手ほどきを

学生募集要項

家政学科

■食物・栄養コース

(栄養士免許取得)

■教養・教職コース

(中学2級家庭・保健科

教員免許取得)

出願方法	願書受付期間	試験日	合格発表	試験科目および必要書類
推薦	第1期 11月15日(金)～ 12月14日(土) まで必着	面接・作文 を課す場合 もある (随時)	結果は随時 個人に郵送	入学志願書・調査書・健康診断書 推薦書(推薦出願を希望する者のみ)
推薦 書類 (推薦書不要)	第2期 1月13日(月)～ 2月22日(土) まで必着		2回程審査し結果 は個人宛に郵送	
筆記	2月24日(月)～3月1日(土) までに必着	3月4日(火) 午前8時40分 集合 午前9時 試験開始	3月4日(火) 本学掲示	●食物・栄養コース…国語(国語1・Ⅱ) 英語(英語1・Ⅱ)、理科(理科1・生物・化学より 選択)、面接 ●教養・教職コース…国語(国語1・Ⅱ) 英語(英語1・Ⅱ)、理科(理科1・生物・化学)ま たは社会(日本史)より選択、面接

お問い合わせ 短大教務課 (381)0196 EX33

あなたの良き後輩としてふさわしい 学生・生徒・児童・園児のご紹介を!

“VERITAS VOS LIBERABIT”

「真理は汝等に自由を与う」(新約聖書ヨハネ伝8章)

沿革

- 昭和2年 女子文化高等学院を東京市本郷区元町(現文京区本郷二丁目)に創立する。役員は理事長に法学博士森本厚吉、理事・法学博士吉野作造、理事・医学博士橋本寛敏、学院長には森本静子が就任する。
- 昭和3年 専門学校令により女子経済専門学校と改称する。初代校長に新渡戸稲造、理事長兼副校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和6年 現在地所在の成美高等女子学校を引継ぎ、附属高等女学校と改称し、新渡戸校長が兼任する。
- 昭和8年 新渡戸稲造校長逝去により、副校長森本厚吉二代校長に就任する。
- 昭和9年 東京都中野区の現在地に転移する。
- 昭和18年 地方学生のために東京都中野区桃園(現中野区中野3丁目)に学生寮を開設、桃園寮と命名する。
- 昭和19年 東京女子経済専門学校と改称し、経済科・保健科・育児科を設置する。
- 昭和21年 英文科を設置する。附属幼稚園を開設する。
- 昭和22年 学制改革により、附属高女は東京経専中学校および同等学校に分かれ、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和23年 東京経専小学校を開設し、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和25年 森本厚吉校長が逝去したため、森本静子が校長・園長に就任し、橋本寛敏が理事長に就任する。東京文化短期大学(家政科)を設置し、学長に森本静子が就任する。東京経専高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園を東京文化高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園と改称する。児童研究所を新たに設置する。
- 昭和26年 学校法人東京文化学園を設立、理事長に橋本寛敏が就任する。従来の特設学校は発展的に解消する。
- 昭和27年 短期大学内に医学技術研究室を開設する。
- 昭和30年 東京文化医学技術学校を開設する。医学技術研究室は発展的に解消する。
- 昭和39年 森本武也が学長に就任し、森本静子は学園長に就任する。浅間高原寮を長野県御代田町に開設する。
- 昭和46年 任期満了のため橋本寛敏理事長が辞任し、大浜英子理事が理事長に就任する。医学博士松木光が副学長に就任する。
- 昭和47年 医学技術学校校長に医学博士守屋博が就任する。
- 昭和49年 幼稚園長・小学校長に鈴木光雄が、中学校長・高等学校長に土居孝輔が就任。理事長に大久保安威理事が就任する。
- 昭和51年 50周年記念事業の一環として杉並区和田1丁目に約千坪の校地を購入する。東京文化医学技術専門学校臨床検査学科と改称。創立50周年記念式典を挙げる。東京文化学園五十年史刊行幼稚園長・小学校長鈴木光雄の逝去により、幼稚園長に森本光生が就任し、小学校長に永山義夫が就任する。
- 昭和54年 幼稚園・小学校新校舎が、杉並区和田1丁目に竣工し、二学期から授業開始。
- 昭和56年 医学技術専門学校校長に福岡良男医学博士が就任2, 4, 7号館とこわし、跡地に体育館建築。東グランド整備。創立50周年記念事業を完遂。9月より使用。
- 昭和57年 小学校長に橋本正礼が就任する。
- 昭和59年 短期大学学長・学務理事、森本武也が退任し、名誉学園長、学園顧問に就任する。短期大学学長・理事に佃正奥理医学博士が就任、短期大学副学長、松木光が任期満了により退任。幼稚園長に小学校長、橋本正礼が就任(兼務)



創立者
森本厚吉先生



初代校長
新渡戸稲造先生

昭和二年に女子文化高等学院として創立した東京文化学園の同窓会は、全国に支部29か所、同窓会員数一万七千人余となりました。創立者森本厚吉先生、初代校長新渡戸稲造先生の建学の3日精神を實踐し、各方面で社会に貢献されている卒業生の活躍は、後進の者の誇りと、大きな励ましとなっています。

また、卒業生のお子さんやお孫さんが母校に入学され、伝統ある校風と、新時代に即した教育を受ける姿を拝見することは、学園にとって力強いことで、皆様の信じて下さるべき創立六十周年に



名誉学園長
学園顧問
森本武也

頼にこたえるよう教職員一同努力しています。創立五十周年記念事業も皆様の協力により、昭和五十六年をも教育計画が進められています。同窓会の皆様には、学園祭、総会、クラス会など折にふれて学園に来ていただき、明るい校舎と充実した教育環境に、高い評価をいただいています。本年は全国の支部長の皆様にご来園いただき(隔年実施)、交流を深めたいと存じます。皆様のご支援をお願いいたします。

東京文化学園 案内請求券 (同窓会)

この請求券を切りとって同封した場合、学校案内は無料になります。必要とされる学校名に○印をおつけ下さい。
短大・医技・高校・中学校・小学校・幼稚園

宮田儀治先生を偲んで

目崎 晶子



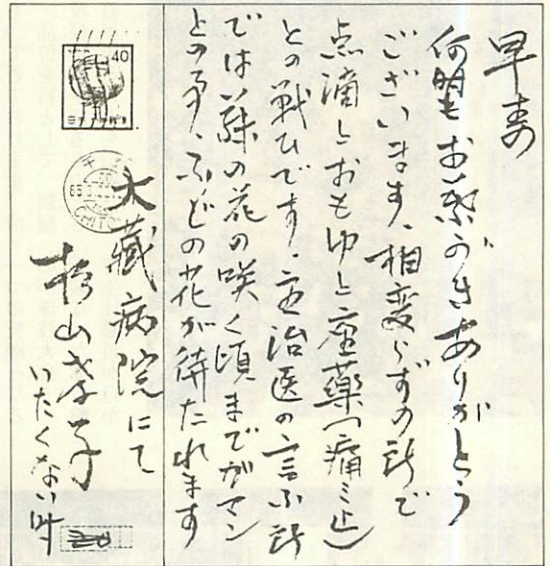
「逢うは別れの始め」と申しますが、私が昭和二十七年四月東京文化短期大学に入学して、「哲学の教授」と学生との出会いに始まりました。戦後も落ち着き始め、長野から進学した私には「哲学の教授」「大学教授」という印象を文字通り与えられた方でした。滔湏とした講義の間に、ほっと恋愛論に脱線なさり、学生を随分楽しませて下さいました。それから三十余年、常にダンディで、「週に一回は日本大学に講義に出かけているよ」とおっしゃっておられたのは数年前のことでした。

私が進学した頃は、丁度学制の変わった時でした。新しく短大になった東京文化も、学校と卒業生、学校と地方のきずなを強くしたいとお考えから同窓会活動に力を入れられた時代の始まりでした。私も昭和三十年秋に新潟県に移

り、先輩方とやっと昭和四十一年八月に長岡で第一回支部会を開き、続いて翌年八月に新潟市「ホテル新潟」で第二回支部会を開催しました。現学園長夫妻、宮田先生、中川先生をお迎えしてのホテルの庭での記念撮影の写真では、宮田先生のお姿は学者らしい風貌の中にも、やさしさのあふれたものです。いっお逢いしても、各期の学生の人名を指してお話なさるお姿を思い出しますと、学問を愛される学生をいっくしんで下さった先生のお人柄と感じたものでした。長い間御指導いただきありがとうございます。どうぞ安らかに眠り下さいませ。心からお祈り申し上げます。

逝去された諸先生方

- ▲鈴木富美先生(喜多) 昭和58年9月逝去。 77歳
- ▲呉 文炳先生 昭和56年逝去。
- ▲秋 一雄先生 昭和59年8月29日逝去。
- ▲田下尚弘先生 昭和58年8月12日逝去。 81歳
- ▲田中チズ先生 昭和59年1月逝去。



高女17 片岡道子

このがきは、ゴロちゃんに亡くなる一週間位前に、私の手許に届けられたものである。おそらく、渾身の力をふりしぼって書いてくれたものと思う。藤の花が咲くのを待たずに三月二十九日、旅立って逝った彼女を思う時、何ともせつなく、残念で淋しくなる。

自らゴロちゃんとの名をのりあげて以来、クラスはもとより先輩後輩、果は先生方の中にまでその名をとどろかせた彼女だったのに、何故こんなに早く逝ってしまったのか。

「義をみてせざるは、勇なきなり」を地で行ったような人で、そのエピソードは数多くある。そし

高校部

同窓会合同懇談会

九月二十八日(日)学園第二カフェテリア、視聴覚室に於て、高校卒業後久しい期、即ち卒業後十五年経過された方が五年毎に招かれ、最近の母校を御理解頂くことにより折りにふれて知人に紹介頂くようすがとなるよう、また併せて卒業生の親睦と同窓会高校部の結束を図る一助として行われました。

今回は昭和二五、三〇、三五、四〇、四五年三月に卒業された諸姉と各期幹事が招かれました。

最近とみに上昇しつつある東京文化学園の世評にたがわず、学園の教育精神3日に加え、非行や校内暴力のない学園、まさに理想の学園に発展した母校の姿を目の当りに拝見出来ますことは、御多忙の中この様な有意義な会を企画して下さい諸先生方の御苦勞はさることながら、大変喜ばしいことです。

来年秋には、次の期の方々、即ち昭和二六、三一、三六、四一、四六年三月に卒業された方々のお招きが予定されております。その折は該当の期の方々お誘い合せの上、多数御参加下さいませ様期待しております。

(三雲記)

合掌

自分のために自分で学ぶ

—五日制の実施—

中学校も高等学校も、相変らず
 三日精神や「真理は汝を自由にす
 る。」に沿った人格教育を旨とし、
 受験本位の詰め込み主義をとりま
 せん。生涯教育時代に対応して、
 基礎となる学力の養成に努力し、
 自分のために自分から学ぶ姿勢の
 養成につとめています。

その一環として五日制を実施し
 ています。毎土曜日は自主学習の
 日として、学年別にテーマを設定
 し継続的な学習を行っておりま
 す。

本年を例にとると中一は予習復
 習の習慣化を図ることとしそれに
 読書を加えています。二、三年生は
 私の研究ということで自分でテ
 マを定めます。毎週学習日誌を提
 出、担任の評をうけます。

高一は「母親に学ぶ」。土曜は
 朝早くから起き、お母さんがふだ
 んやっていることを全く自分です
 る。お母さんがもっておられるも
 のを全部吸収する。まずお母さん



あずけて心配のない

学校として

中 学校長 土居孝輔
高等

同窓会の皆様、日頃なにかと御世話になっております。
 お陰様で、学園の教育環境が年ごとに整い、生徒達の学力、行動共
 に著しく向上してきました。

今後とも建学の精神に則り、良い伝統は大切に守ると同時に、新し
 い時代にむけてその現代化を図り、あずけて心配のない学校、とし
 て皆様の御期待に応えたいと努力しております。

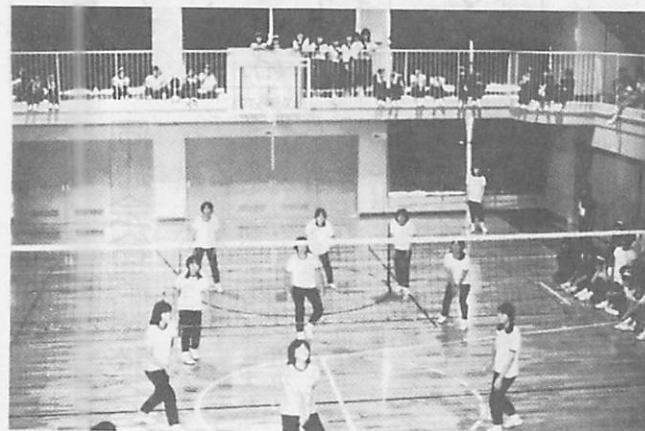
最近卒業生の親族、縁者の方々の入学者がとみに増えて参りました。
 本当に有難いことと感謝しています。中学校の募集も一学級増やしま
 したので、どうぞ校風の守り手として相応しい良き御家庭の子女を積
 極的に御紹介、御推薦下さいますよう、ますますの御協力をお願い
 いたします。

から学びましょうというわけですが。
 高二になると自主学習の目安とし
 て、各教科毎に課題のヒントが出
 される。それを選択して各自の年
 間学習とします。高三になると高
 二の学習をさらに継続してもよい
 し、また進路にそってその学習を
 するもよい。全学年とも土曜カー
 ドを提出する。というスタイルで
 四年目を迎えております。

清潔・端正・品位

—東京文化はあなた自身—

中、高の前身附属高女開設以来
 連綿と続いているこのえんじのセ
 ーラーは、制服是非論が間欠的に
 まきおこる中で、いつも好評をう
 け、かつて先輩が着たと同じ制服
 を誇りをもって着ております。清
 潔・端正・品位を旨として、制服
 姿は本人及び学校を語るものとし
 て正しく着用することを指導して



います。髪型、携行品その他きめ
 細かなルールがありますが、それ
 の遵守については「東京文化は
 あなた自身です」とのかけ声のも
 と、生徒の自律を呼びかけていま
 す。おかげ様で、登校拒否も非行
 もない「きびしくて楽しい学校」
 として定評を頂いています。

行事は「人間形成」を主眼とす
 るこの学校においては極めて重要
 な教育の機会になっています。
 特に団体訓練、創造力、協調と
 協力精神など貴重な体験を積ませ
 ます。

入学式・オリエ
 ンテーションの後、
 新しい学校づく
 りを軌道にのせる
 一つの契機となる
 のが球技大会で、
 新装なった体育館
 で生徒職員が自か
 らスポーツに親しみ、併せて学級
 学年、全校の親睦と団結を図りま
 す。中間試験を終えんと、芸術教育
 の一環として舞台鑑賞を行ないま
 す。本校では他に二学期には芸術
 鑑賞を、三学期には音楽鑑賞を行
 なって、より優れた生の芸術に触れ
 させ情操教育の一環としています。
 夏休みを前に氾濫する情報の中
 で正しい性知識を考えさせるため
 性講話が企画されます。進路指導
 諸行事もこの頃がピークを迎えま
 す。中学一年生には水泳教室も開
 かれます。

中学生は学年毎に学園の浅間高

原寮で、高一は富士周辺で夏期学校を開き、恵まれた自然環境の中で規律ある集団生活を行ないます。クラブ合宿も浅間高原寮及びその周辺で行ないます。

海外生活を体験することにより、国際的視野をひろめるため、高校生希望者により、海外研修旅行を行なっています。初代校長ゆかりの地としてカナダを選び、大学の宿舎で初歩の会話を学び、ホームステイを行ない、カナディアンロッキーの雄大な姿、美しい街づくりを見聞きながら、ハワイに立ち寄り、約三週間の旅を終ります。

二学期は、創作舞踊発表会、合唱コンクール、学園祭、修学旅行など大きな行事の他、英語暗唱大会など教科的行事もあり多彩です。

創作舞踊発表会は体育授業の成果の発表の一つとして行ない、学年の規定に基づき、選曲振りつけ、手具の選択から若干の体育着の装飾などすべて学級討議を経て自主的に創作され、生徒による審判

で優勝が競われます。合唱コンクールも同じように学級を単位とし、中高全員が参加します。自由曲は学級で自主的に選曲し、指揮、伴奏、共に学級内で



熱演する発表者

創作舞踊



選ばれます。音楽科教員、音楽を専攻する卒業生らが審査員になり



成績が決まります。両者とも学校内の団結と創意、熱意がものをいう行事なので歌い合わせ、おどり合せることから協調の精神が培われ、他人を尊重する心が養成されます。

学園祭は芸術の会部門、展示催物部門に分かれ、中高では、おまつりとしてではなく、日常の教育活動つまり授業ホームルーム、クラブ活動の成果を発表する場として、学級選出の実行委員の手によって運営されます。学園祭のあと修学旅行が行なわれ、中三は京都、奈良、高二は九州地方、同じころ高三は卒業旅行(一泊)を行います。修学旅行のあと学園は静けさをとり戻し、ひたすら学習に励むこととなります。

この他美術鑑賞が組み込まれます。またウィンタースポーツとして、希望者によるスキースクールが開かれると、二学期の幕が降ります。

三学期はかるた会が作法室で開かれます。かるた会を通して古典に親しみ日本古来の遊戯を理解する一助として人気のある行事の一つです。

高校の卒業式は二月、中学は三月に行ないます。伝統的な形式により、厳しゅくさをのこしながらも「卒業は始業なり」という創立者の言葉のように、果立ちゆく若人の前途を祝福しつつ、なお惜別の情をぬぐえぬ心の通った雰囲気は

東京文化ファミリーならではのものといたえましょう



かるた会

父母会バザー会場風景



中学 水泳教室



月曜集会

小学校長

機本 正礼

毎週月曜日の一時間目には、全校の児童が教室から椅子をかかえて講堂に集まって来ます。月曜集会と名付けられている時間です。この集会の四十分間は、子どもたちに東京文化小学校の創立の精神を伝えるため、キリスト教礼拝をしています。

戦後の焼け野が原の東京で、はじめな生活をしている人々を見て森本厚吉先生は、「この敗戦による皆さん人々の心を救うのは宗教



の力によらなければならぬ。そのためには、イエス・キリストの愛の心を教育の土台とする学校をつくり、これからの日本を背負って行く子どもたちに立派な教育をしよう」と考えて、まだ食べる物も着る物も不自由だった敗戦直後の極めて困難な状況の中で、まず幼稚園を、続いて小学校を設立されました。これが現在の東京文化小学校なのです。

森本先生は、残念なことに小学校ができてまだ二年たないうちに神に召されましたが、それから三十八年間、歴代の主事・校長は先生の御遺志を継いで、子どもたちの心を育てる大切な場として、この礼拝を守り続けて来ました。

奏楽と讃美歌に始まって、讃美歌と奏楽で終わるこの礼拝の中心は、お祈りと児童説教です。一年生から六年生まで、知識も経験も大きな差のある子どもたちに、聖書に記されている教えに基づく二十分程のお話をするのは、なかなか難しい仕事です。

キリスト教で一番大切な教えは「隣り人を愛する」とことと「心をこめて神に祈る」ことです。月曜集会のお話の中心もこの二つのテーマになるわけですが、これに加えて聖書の中のいろいろなたとえ話やお弟子さんたちの記録からも、さまざまな教えを学ぶようになっています。

私がこれまでに選んだテーマは

「すべての事に感謝すること」「父母を大切にすること」「楽をしようとせず、苦しい事を笑顔で乗り越える人になること」「ことばを大切にし、美しいことばを使うこと」「神様から頂いている能力を力いっぱい伸ばすこと」「地の塩、世の光となること」など、いろいろな領域にわたっています。

また、新渡戸先生や森本先生の御命日の週には、それぞれ記念礼拝を献げて、本学園を創立された両先生の御遺徳をしのぶことにしています。

新渡戸先生が、「宗教とは神の力が人の心に働きて、その人に特有の働きをなさしむるもの」と言われたように、この学校に学ぶ子どもたちにとって、この時間が主イエスを模範として愛の人となり、光の道を歩む人に育って行くための心の糧となることを祈りながら、毎週、月曜集会のひとつときを迎えているのです。

秋の運動会

秋の運動会

本校の運動会には、伝統的な種目がたくさんあります。全校児童と教師が校庭いっぱいのに二重の輪にひろがって踊るフォークダンス「マイム マイム」、全員が色とりどりのゆかた姿にたすきがけで踊る「花笠音頭」、どちらも長年続けている楽しい踊りです。

低学年児童の「ねずみのタイヤ引き」も、見ている思わず手助けをしてあげたくなる種目です。ピストルの合図で両軍の中央に置かれたタイヤに向かっていっせいにかけ寄り、タイヤにつけたロープを持って自軍のラインまで引っ張り込むのですが、残ったタイヤに群らがついて引っばり合うねずみたちの姿はとてもユーモラスです。

上級生男子の「障害物リレー」もおもしろい競技です。はしごくぐり、平均台渡り、綱くぐり、タイヤ遊び等、順位がコロコロ変わるので、歓声も一段と大きくなります。六年生の女子が六月から自分たちで振り付けを考え、コンテストを経て四、五年生にそれを教え、上級生の女子全員で踊る「創作ダンス」、全校生がふた手に別れて引っ張る綱引きなども、運動会に無くてはならぬ種目です。

本校の運動会のもう一つの特徴は、両親にとっても「見物する運動会」ではなく「参加する運動会」だということです。「たるころがし」「コンパス競争」「ダンス」「綱引き」「リレー」等、数々の種目に

お父さんお母さん方が子どもに負けない位夢中になって参加してくださいませ。
こうして、小さな小学校の大きな運動会が、毎年楽しく元気にくりひろげられています。
(菊池)



昭和六十一年度児童募集

募集人員 男女合わせて約四十名
(内部進学を含む)

入学説明会 10月8日(火)
午前9時40分

願書受付 10月17日～11月14日
入学テスト 11月15日(金)

合格発表 11月16日(土)

★入学書類は小学校受付で配布中



ようちえん

だより

ぶどうも紫色に熟し、ピーマンも沢山の実をつけて、園庭にも秋が訪れました。

六年前、三歳児の教育の大切さを痛感して始めた三年保育は、年毎に希望者を増し、軌道にのって充実した保育をすすめています。一学期には、まだ、どこかお乳の匂いのような子ども達でしたが、秋の訪れとともに、自分の足でしっかりと歩きはじめました。嬉しい成長の姿を、「豆鞆先生のノート」から拾ってご紹介しましょう。

ブランコ大好き

「せんせーい、みて！」園庭に出て行くとブランコの方から呼ぶ声がかきこえてきます。ブランコの大好きなKちゃんが勢いよく立ちこぎをしている姿がみえました。「わあ、Kちゃんすごい、お空に届きそう」そう言われて得意そうに「イチニイ、イチニイ」と増々ブランコをこぐ手にも足にも力が入ります。

高い所は大の苦手、はじめて幼稚園で乗った時には先生にこいでもらいながらこわこわとつかまっていたのに今では立っても座っても自由自在です。Kちゃんと同じようにAちゃんもMちゃんもNちゃんもブランコが大好き。「次は私に乗せてね」「うん、じゅんばん、じゅんばん」。一学期にはなかなか守れなかった順番も、今ではスムーズに交替することが出来るようになりました。

お友だちと一緒に

アスレティックの方では男の子達がチェンジマンごっこに熱中しています。JくんもAくんもTくんもすっかり役になりきって真剣

そのもの。先生はいつも怪獣の役を指名され、何度も何度も強いチェンジマン達にやつつけられていきます。

夏休み前は年長組や、年中組が中心になって遊んでいたアスレティックも今はことり組のチェンジマンの基地が優勢を占め、他のクラスのお友達はその元気の良さに負けてしまっそうです。

ことしのことり組は、探究心が旺盛ですぐに行動に移す積極派が多いせいか、一学期にはクラスでの活動の時間より、二人の先生がひとりひとりを集める時間の方が多かったようですが、二学期になり、自分ひとりの世界から、先生やお友達と共にひとつのものをみつけ、いっしょに考えられる心がすこしずつ育ってきている様に思うこのごろです。

野も山も、みりの時を迎え、神の恵みにすっぽりと包まれてい秋！子どもたちは、一人一人頭も手も足も力一ぱい使って、元気に、更にたくましく伸びていくうとしています。

浅間高原宿泊保育

今年の夏も、年長児達は、緑の樹々、小鳥のさえずりの中で、二泊三日の生活を元気に過しました。一日目、二日目と、午後から変わりやすい山の天気にも悩まされましたが、子ども達にとっては、お友

達と一緒に風呂にはいったり、枕を並べて寝るだけでも大満足のようでした。

最後の晩のキャンプファイヤーも、夕方から降りだした雨に先生も子どもも雨雲にとらめっこが続きましたが、ついにキャンプファイヤーに変更となりました。楽しみにしていた星空を見ることはできませんでしたが、食堂のテーブルを片づけ、三十本近いうそ

かに火をとますと、それまでの眠かさは一転、あたりは静寂に包まれました。園長先生の語られる聖書のみことばに耳を傾けました。その後は、キャンドルファイヤーを囲んで合唱―肩を組んで、もえろもえろ、サーラスボンダ、クイカイマニマニ」と歌い続け、ジュンカを踊る頃には楽しさも絶高調に達しました。

子ども達にとって、長くまた短かかった三日間は、家庭や幼稚園では味わえない貴重な体験を通して、沢山の思い出を心のひきだしにしまったことでしょう。

子どもの教育相談室

子どもの自殺、家庭内暴力、登校拒否など、子どもの教育をめぐる諸問題が、新聞の社会面をにぎわしている昨今です。

東京文化幼稚園では、一人一人のお子さまの健やかな成長を願い、少しでもお母様方のよき相談相手

になりたいたいと、子どもの問題では第一人者の石井哲夫先生に御協力頂いて、「子どもの教育相談室」を開設してから四年目を迎えました。

石井哲夫先生は、日本社会事業大学の教授で、子どもの生活研究所の所長でいらっしやいます。

お子さまの発達が順調かどうか確かめたい方、知能テスト、心理テストの測定をご希望の方、どうぞお気軽に相談においで下さい。相談日は、毎週水曜日午前九時三十分から午後四時までで、お一人の所要時間は、約一時間三十分です。相談には、子どもの生活研究所の島野雅子先生があたります。予約により時間を決めますので、幼稚園(電話三八一・一一八三)までお申し込み下さい。相談料は三千円です。

昭和六十一年度 園児募集

公開保育日 9月26日 (9・30~11・30)

入園説明会 10月9日 (2・30~3・30)

願書受付 11月1日~4日

入園児諸検査 11月5日

三才児男女15名

四才児男女30名

五才児 若干名

を募集します。幼稚園案内を配布中です(無料)

東京文化幼稚園

創立六十周年記念事業

昭和二年に女子文化高等学院として創立され、翌三年に女子経済専門学校となって女子教育から始まった東京文化学園は、五十余年の歴史を歩み、現在では幼稚園、小学校、中学校、高等学校、短期大学、医学技術専門学校と六校で教育研究を行っています。来る昭和六十二年には創立六十周年を迎えることとなります。

医技の桃園移転

創立五十周年のときには、杉並区和田に土地を購入して小学校と幼稚園を移転し、北グランドに十号館を、本部校地の中央に体育館を建設するなどの建設関係の事業のほか、創立五十周年記念誌を刊行し、学園の五十年の歴史に一つの区切りを設け、新しい発展の礎としました。

学園では、創立六十周年記念事業として、学園の創立の精神をどのように具体化するかにについて検討を重ねてきましたが、おむね次のような事業を実施する方向で進んでいます。

短大図書館

現在の図書館は、短大と医技の共通の図書館として新渡戸記念館(一号館)の三階に設けられていますが、蔵書の増加により狭くなってきているので、木造の八号館を取り壊した跡に図書館棟を二号

珠の会開催について

久しく休んでいた珠の会を、むかしなつかしい桃園寮で開催致します。皆様おさそい合わせの上、お集り下さい。

詳細については、後程お知らせいたします。

記

日時 61年3月2日(日) 13時~16時
場所 桃園寮

(幹事) 短大5期 斎藤タカ
短大6期 岩崎阿嬉 他

東京文化学園同窓会理事名簿

会長	白井 スエノ	166	杉並区堀の内1-10-6	03-312-0428	
副会長	湊 く	174	板橋区成増4-21-3	03-930-6011	
	青木 純子	176	練馬区中村3-5-16	03-999-4212	
会計監査	桜庭 法子	143	大田区池上3-17-4	03-753-2735	
	赤木 君江	160	新宿区若葉町2-8-7	03-351-4666	
専門部	篠原 初江	187	小平市花小金井2-755	0424-65-1997	
	田村 美知子	181	三鷹市下連雀4-17-14	0422-43-4900	
高女部	竹の谷 智子	106	港区六本木7-3-8	勤務先 03-806-3180	
			永谷ビルプラザ六本木318号 自宅	03-405-5271	
	小堀 一枝	166	杉並区阿佐谷南1-1-40	03-312-7663	
短大部	小宮山 寿々子	108	港区高輪4-12-18-209	03-441-2155	
	山端 道子	156	世田谷区羽根木2-1-10		
	小暮 明子	165	中野区上鷺宮1-25-9森ハイツ1-201	03-926-9514	
医技部	小栗 豊子	112	文京区小石川5-11-15		
			小石川ビューパレス902		
	安達 房子	164	中野区東中野3-4-8 桜山ハイツ101号	03-364-6029	
高校部	小口 幸子	177	練馬区関町南4-1-25	03-928-6737	
	三雲 保子	166	杉並区和田1-67-17	03-381-1049	
	横尾 久子	166	杉並区和田1-70-16	03-381-6030	
	佐藤 直子	184	小金井市緑町5-10-22	0423-81-1080	
小学校	河村 浩太	166	杉並区大宮1-25-15	03-313-4796	
総務	大池 光子	164	中野区本町6-41-1	03-381-4715	
校内	黒沢 教子		中川 悦	白鳥 雅子	小鳥 圭子
	鷺見 美智子		森屋 ゆみ子	小川 みゆき	長岡 文
	佐伯 かよ子		森本 晴生	小松 洋子	吉田 久江
	石田 由美子				

て使うことになり、既に一部の学生は移転しています。

この桃園寮の閉鎖を前にして卒業生の集りである「珠の会」が別項のように開催されることになりました。

新校舎は地上三階(一部二階)地下一階の建物となる予定で、昭和六十二年度から新校舎での授業

新専門学校の設置

現在の六つの学校の他に、学園では建学の精神である女子に対する実学教育の延長として、現在のビジネス社会に対応する新しい専門学校の設置を検討しています。

同窓会館の建設

同窓生として長い間の懸案事項であった同窓会館の建設も、六十周年記念事業の一環として始められる予定です。会議室と事務室等からなる二階建の予定です。同窓会で使用しないときには学園の会合等にも使用するような計画を進めています。

支部長及所在地

北海道札幌支部	玉木美佐 060	札幌市中央区南1条西5丁目	TEL 011-231-4017
青森県支部	正枝 030	青森市浜田板橋23	TEL 0177-34-6426
秋田県支部	那波ノブ 010	秋田市保土野中町6-14	TEL 0188-62-2570
岩手県支部	山田泰子 020	盛岡市東緑ヶ丘17-12	
山形県支部	星信子 992	山形市蔵王飯田1413	TEL 0236-41-7547
宮城県支部	稲村キクエ 980	仙台市鶴ヶ谷5-20-19	
新潟県支部	目崎晶子 947	小千谷市上ノ山町2026	TEL 02588-2-1131
福島県支部	岡部ますみ 963-02	郡山市大槻町熊野木34	TEL 0249-51-1631
富山県支部	布村清子 930-11	富山市大町1区南部43-5	
長野県支部	山崎さち子 390	松本市浅間温泉348	TEL 0263-46-0882
茨城県支部	山田よし 319-15	北茨城市磯原町磯原1215-3	
栃木県支部	戸部八重 320	宇都宮市西2-2-30	
群馬県支部	塚田幸子 371	前橋市日吉町2-6-11	
静岡県支部	島田良香 430	浜松市下池川町2-11	
岐阜県支部	林志志づ 504	各務原市那加雲雀町37	TEL 0583-82-0770
愛知県支部	野田梅子 464	名古屋市千種区田代町四観音道 西15-3	
副支部長	朽木美代子 465	名古屋市名東区猪高町大字高針字松井2-1	TEL 052-703-7716
鳥取県支部	田中正子 680	鳥取市馬場14	
兵庫県支部	増谷典子 658	神戸市東灘区御影町郡家大蔵23-3	
岡山県支部	後藤美枝 700	岡山市津島西坂2-8-29	
広島県支部	石橋勝子 729-64	広島県高田郡甲田町上甲立	
高知県支部	森美佐子 780	高知市高須新町4-8-3	TEL 0888-83-8227
愛媛県支部	武田スナ子 795	大州市田口甲2301	
福岡県支部	龍久仁子 832	柳川市糴屋町48	
大分県支部	長田尚子 874	大分県南海部郡蒲江町大字蒲江浦3383	TEL 09724-2-0005
宮崎県支部	樋口セツ 885	都城市早水町5-8-1	
長崎県支部	久松つる江 856	大村市片町71	
熊本県支部	橋本静子 867	水俣市古城1-3-10	
鹿児島県支部	堀川ミヨ 890	鹿児島市天保山町13-15	TEL 092-55-3687
沖縄県支部	阿波根由子 904	沖縄市諸見里717-1	

収支計算及び予算

収入科目	昭和59年度		昭和60年度	支出科目	昭和59年度		昭和60年度
	予算	決算	予算		予算	決算	予算
1 会費収入	3,662,000	3,662,000	3,048,000	1 通信費	100,000	94,430	100,000
	小 5,000×44= 220,000		5,000×27=135,000	2 印刷費	200,000	170,000	200,000
	高 5,000×278=1,390,000		5,000×189=945,000	3 会合費	350,000	360,020	350,000
	医 6,000×44= 264,000		6,000×43=258,000	4 事務費	30,000	19,101	20,000
	短 6,000×298=1,788,000		6,000×285=1,710,000	5 会報会計へ繰出	1,300,000	1,300,000	1,300,000
				6 交際費	100,000	95,710	100,000
2 受取利息	350,000	304,543	500,000	7 支部費	130,000	71,265	130,000
3 雑収入	0	0	0	8 総会会計へ繰出	300,000	300,000	400,000
4 年会費	1,100,000	1,361,000	1,200,000	9 部会活動費	300,000	300,000	300,000
5 前年度より繰越	176,622	176,622	463,020	10 入会記念品費	450,000	354,375	450,000
収入合計	5,288,622	5,504,165	5,211,020	11 役員交通費	200,000	155,000	200,000
59年度末残高				12 人件費	560,000	560,000	560,000
一般会計	12,730,222			13 名簿部へ繰出	900,000	900,000	900,000
事業部会計	12,534,322			14 積立金	360,000	360,574	200,000
名簿会計	709,478			15 予備費	8,622	0	1,020
会報会計	266,337			小計	5,288,622	5,041,145	5,211,020
建設準備金	9,819,536			次年度繰越	0	463,020	0
計	36,059,895			支出合計	5,288,622	5,504,164	5,211,020

60年度第3回同窓会理事会

浅間高原寮で開催

八月二十四日、快晴、朝七時半新宿出発。カルガモの母さん（湊くんにさん）白井会長のあとに続くこと63名、みんな家事から解放されて表情も明るく発車オーライ。一路浅間高原寮へ向って関越自動車道へ。折からのウィークエンドの渋滞でノロノロ。途中藤岡附近の日航機惨事の事故処理をしているあたりを通過する頃、胸が痛む思いでした。

予定時刻も大分過ぎ、お腹も空きつつ寮へ到着は一時半すぎ。先着の森本晴生事務長と卒業生

昨年増築した本館のバルコニー前で



の皆様方に迎えられてバスを降り立った瞬間、さわやかな高原の風が頬をなでてくれ、ああ、又来て良かったと思いつつ、食堂での釜めしの美味しかったこと。

食後は手際よく割り当てられた静荘へ、若くて元気な方は真実寺へ徒歩で。我がグループ四人は畳を拭いてお昼寝、そしておしゃべりしているうちに夕食。

自分で作らないで、上げ膳据え膳の最大の魅力。何とも嬉しく細かい気配りが伺えて楽しい食事の一時を送り、やがて夜七時より理事会。

- ・ 会長の挨拶
 - ・ 同窓会館の件（明るい見通しありとの知らせ）
 - ・ 事業部の報告 スプーン、コーヒークップについて
 - ・ 会則改正について
 - ・ その他など 出席者16名
- 三時間に及ぶ審議があり、九時近く解散。同窓生の方達が待っていて四人が入浴。外に出ると涼しくて気持ちの良いこと。星空も大変きれいでした。
- 帰路、美味しい桃やトウモロコシもバスに積んで、鬼押し出しに寄り、軽井沢の繁華街で買物をし、車中懐かしい歌の合唱、独唱あり、又謡あり。途中で事故の渋滞に逢いましたが全員無事帰着、お世話下さった方々に感謝いたしました。

篠原初江

理事会・幹事会のうごき

昭和五十九年度

第三回理事会

九月二十五日（火）学園にて

一、「泉」について

二、学園祭について

三、第二回の海外旅行について

第四回理事会

十二月五日（水）

一、同窓会入会式の件

二、学園祭売店報告・反省

三、第二回海外旅行について

四、総会、観劇会について

第五回理事会

二月六日（水）

一、観劇会について

二、同窓会入会式日程

三、観劇会、総会について

昭和六十年

第一回幹事会

四月十七日（水）学園にて

一、新幹事紹介

二、昭和五十九年度決算及び六十年

年度予算

三、総会について

四、観劇会について

第一回理事会

五月十七日（金）学園にて

年会費をお忘れなく

- 一、新役員紹介及び役員分担について
- 二、第一回幹事会の反省
- 三、年間行事計画について
- 四、観劇会について 中間報告
- 五、総会について
- 六、学園祭について 担当その他
- 七、各部会予定について

第二回理事会

七月三日（水）学園にて

一、同窓会総会報告と反省

二、観劇会の報告反省

三、学園祭について

四、「泉」中間報告

五、事業部 取扱商品について

(1)コーヒークップ

(2)スプーン

(3)絵葉書

住所変更のときは

卒業後十年以上の方々に、年会費として千円の納入をお願いしておりますが、毎年千三百人余の方々にご協力をいただき、有難うございます。

会員は年々六百位ずつ増加し、通信連絡等のコストも上ってきております。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

なお、今回は昭和五十年三月までに卒業された方々に年会費の振替用紙を同封しました。（昭和五十一年三月以降の卒業の方には振替用紙を同封いたしません。）

従来から、母校に勤務する同窓生の中から、同窓会の運営に任期を決めないでご協力いただく方を役員としてお願いしております。

中川悦、長岡文、黒沢教子、白鳥雅子、小島圭子、森本晴生の先生方がこの役員にあたります。

昭和六十年から、事務局に勤務する小松洋子先生にもご協力いただくことになりました。新しい役員を迎えて、さらに同窓会が発展することが期待されます。

編集後記

今年は、角川登志子さんのお話と、皆様からのお便りでまとめました。ご意見をお聞かせください。クラス会などを開きましたら同窓会にご連絡ください。

